



2024年1月29日

各 位

会社名	ピー・シー・エー株式会社
代表者名	代表取締役社長 佐藤文昭
	(コード：9629 東証プライム市場)
問合せ先	財務経理部長 坂下幸之
	(TEL.03-5211-2711)

配当政策の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2024年1月29日開催の取締役会において、下記の通り配当政策の変更を決議いたしましたので、お知らせいたします。また、2023年10月23日に公表いたしました2024年3月期の配当予想につきまして、今回の配当政策の変更に伴い、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 配当政策の変更の理由及び内容

(1) 変更の理由

当社は、2022年4月28日に公表いたしました「2024中期経営計画」（2025年3月期が最終年度）において、長期ビジョンである「マネジメントサポート・カンパニーの確立」を実現すべく、経営を進めております。また、長期ビジョンの実現とともに、企業価値の向上を図るために、事業面のみならず資本効率性の観点についても、機関投資家とのコミュニケーションや取締役会での議論を通じて、現行の中期経営計画で目標として掲げているROE10%の達成可能性についても分析を進めてまいりました。

その結果、安定的な収益基盤であるストックビジネスを拡大させるため、当初の予定よりも事業面における先行投資の金額を増加させたことから、資本効率性の観点において、現中期経営計画の期間内では目標ROE10%への到達が困難となる可能性があるとの結論に達しました。また、ROICとWACCの差である「EVAスプレッド*」についてはマイナスである状態が継続しており、この状態をより早期に是正いたします。それに伴い、2024年3月期から当社の配当方針を変更することといたします。

* 「EVA (Economic Value Added: 経済的付加価値)」は、投下資本を元手に「真の経済的利益」をどれほど生み出したかを測る1つの経営指標であり、NOPAT (税引後営業利益) から資本コストを差し引いて計算されます。

「EVAスプレッド」は、投下資本（純資産と有利子負債の合計）に対するNOPATの比率であるROICから、WACCを差し引いて計算しています。真の経済的利益をどれほど効率的に創出しているかを図る1つの指標であり、より早期にプラス転換したうえで向上させることは、企業価値向上につながり、株主だけでなくすべてのステークホルダーの長期的な利益に寄与すると考えています。

(2) 変更の内容

① 変更前

当社は、「長期的かつ安定的な事業の継続・発展を目指した事業基盤の確立と企業体質の変革」の中期基本方針に基づき、ROE10%以上・DOE2.5%・配当性向30%を目標とし、株主の皆様に対しては安定的・継続的な株主還元策を実行しております。

② 変更後

当社は、株主価値ひいては企業価値の向上を図るためには、EVAスプレッドのプラス転換が必要不可欠と認識しており、「長期的かつ安定的な事業の継続・発展を目指した事業基盤の確立と企業体質の変革」の中期基本方針に基づいて、資本効率性の向上を目指します。株主還元策につきましては、次期中期経営計画の期間内において、より早期にROE10%に到達させ、かつEVAスプレッドの更なる向上を新たな目標とし、B/Sマネジメントを導入して資本効率性を追求してまいります。

また、上記目標を達成するまでの期間は、新たな株主還元方針として連結配当性向を100%程度とし、配当を実施してまいります。

(3) 変更の内容

2024年3月期末の配当より適用いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容 (2024年3月期配当予想)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2023年10月23日公表)		17.00	17.00
今回修正予想		62.00	62.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2023年3月期)	0.00	17.00	17.00

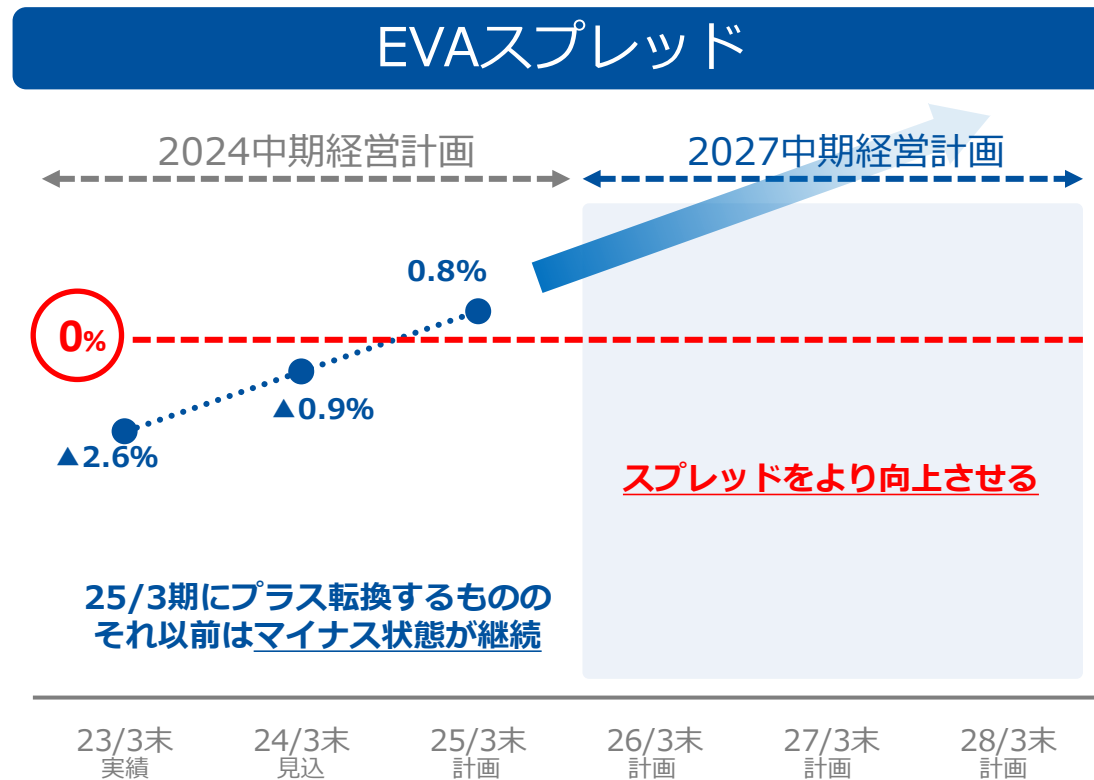
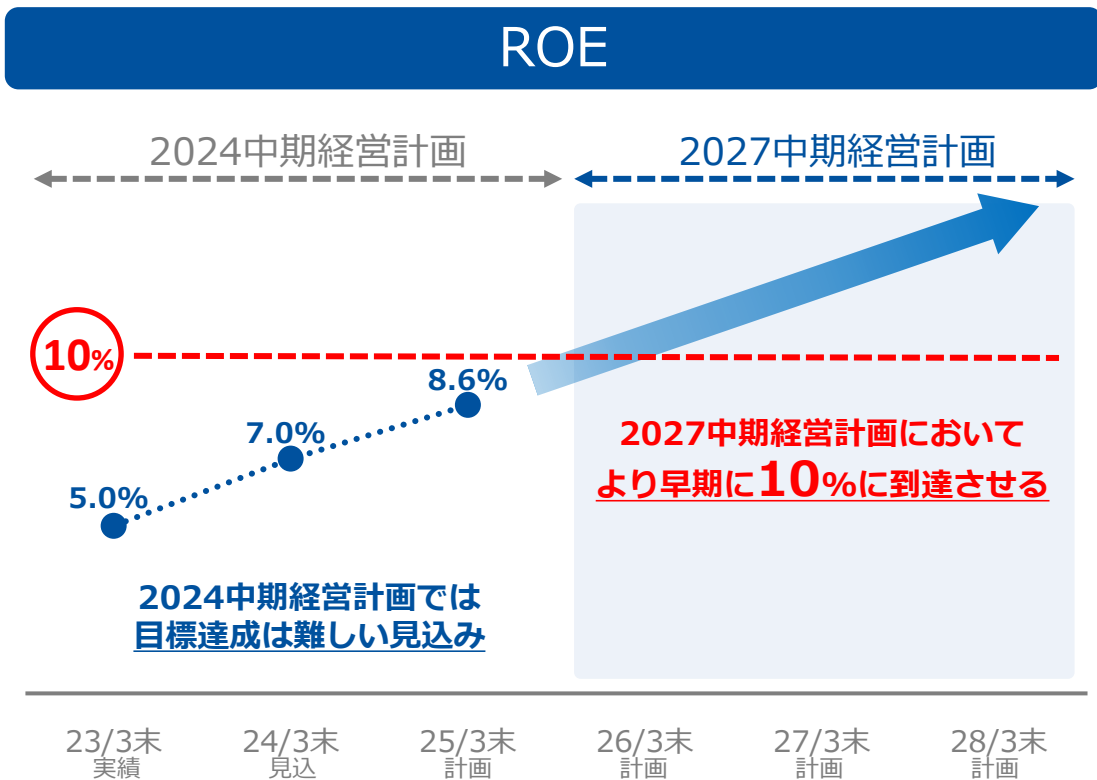
(2) 修正の理由

上記の配当政策の変更をふまえ、2024年3月期の配当予想につきましては、1株あたり17円から62円に修正（増配）いたします。

以上

新たな株主還元策の考え方

より早期にROE10%到達、かつEVAスプレッドをプラス転換させるために資本政策を強化
少なくとも2つの目標を達成をするまでは、新たな株主還元方針として配当性向100%を実施



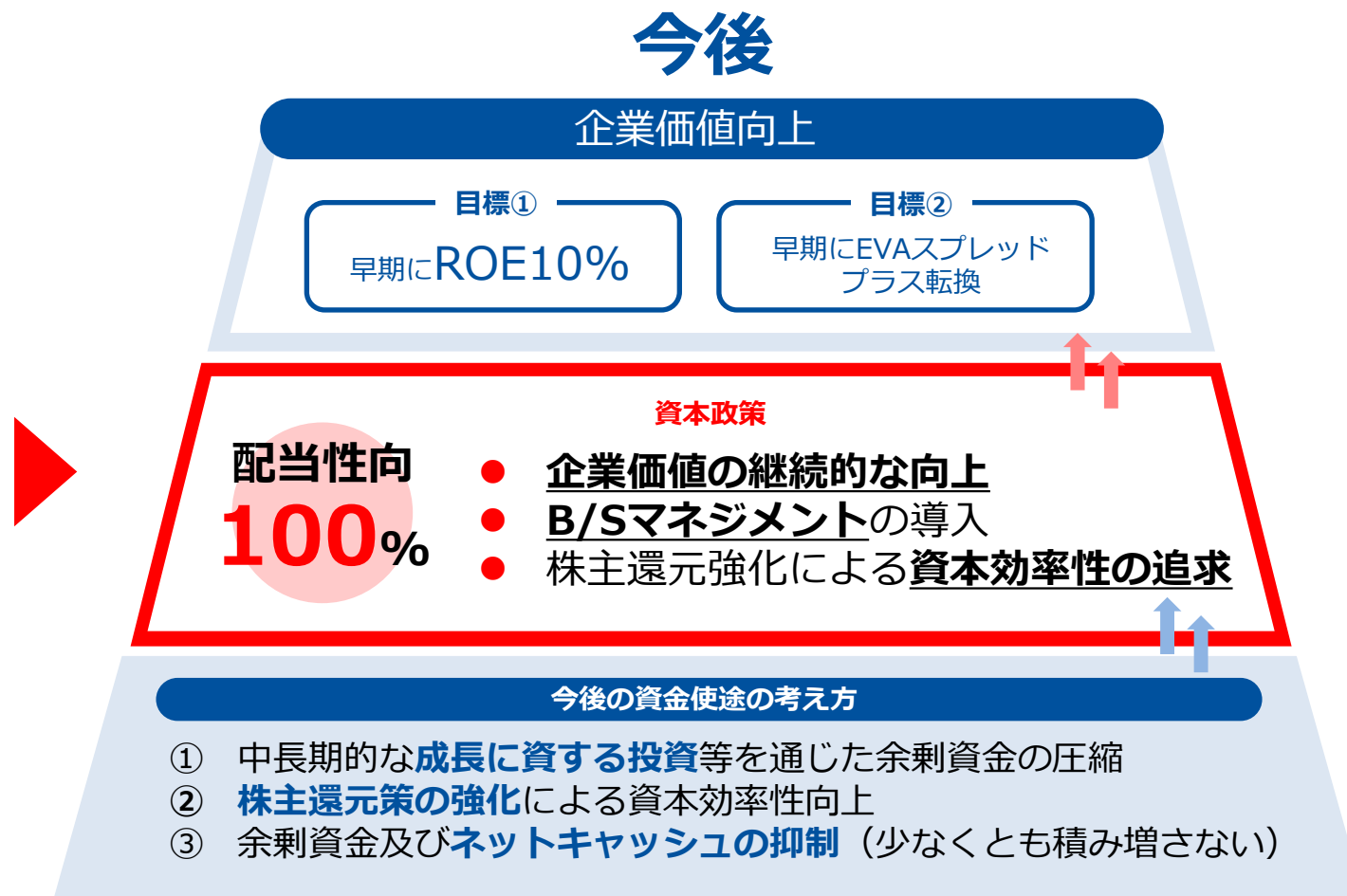
2027中期経営計画において、より早期にROE10%に到達させ、かつEVAスプレッドをより向上させるべく株主還元策の強化により資本効率性の向上を図る

目標達成に向けた資本政策の再構築

企業価値向上を主眼としてB/Sマネジメントを導入し、株主還元策の強化によりROE10%到達およびEVAスプレッドプラス転換をより早期に達成する

従来	
目標	
ROE	10%

株主還元方針	
配当性向	30%
DOE	2.5%



Appendix

用語	説明
EVA	Economic Value Addedの略称であり、【経済的付加価値】を指す 投下資本を元手に「真の経済的利益」をどれほど生み出したかを測る経営指標
EVAスプレッド	ROICとWACCの差より計算される より早期にプラス転換したうえで向上させることは、企業価値向上につながり、株主だけでなくすべてのステークホルダーの長期的な利益に寄与する
ROIC	【投下資本利益率】 NOPAT（税引後営業利益）を純資産と有利子負債を合計した投下資本で除して計算される より高いほど、投下資本に対して効率的に利益を創出していることを意味する
WACC	【加重平均資本コスト】 株主の期待収益率（株主資本コスト）と金利（税引後負債コスト率）を加重平均した率 より低位であるほど、少ないコストで投下資本を調達していることを意味する